



兵庫教育大学大学院同窓会

NEWS LETTER



令和7年8月28日

大学院同窓会事務局発行

令和7年度兵庫教育大学大学院同窓会総会・第44回全国研究大会【高知大会】

令和7年7月26日(土)高知オーテピアにおいて、大学院同窓会総会・全国研究大会【高知大会】が開催されました。高知の夏は土曜夜市や日曜朝市が毎週行われる活気ある町です。高知初の全国大会は、高知県教育委員会や高知市の参加を得て、東中国・四国ブロックのバックアップの下、高知大会実行委員会の丁寧な準備と運営で、活気ある大会になりました。

「学校教育に社会教育・生涯学習の横ぐしをさす」を軸にした実践を、社会教育人材や行政とともに実践していることを発信することができました。高知大会実行委員の皆様に深くお礼申し上げます。

参加者は、会場68名、オンライン5名、総勢 73 名でした。



13:00 総会

総会には新居前会長と森副学長のご挨拶のあと、北海道・東北ブロックの水野副ブロック長が議長に選出され、令和6年度の事業報告・決算報告が了承されました。次に、令和7年度の新役員が承認され、船本新会長の就任挨拶のあと、令和7年度の事業計画・予算案等、全ての議案が承認されました。

また、長年のご功績に対して8名の退任役員に感謝状が贈呈されました。本日の大会欠席者には、後日感謝状が郵送で届けられます。



14:10 研究大会

<開会行事>

研究大会は、野村大会実行委員長と船本新会長の挨拶で始まり、最初に高知県教育長今城純子氏と高知市長（木村大作氏代読）から祝辞をいただきました。大学関係者は森山学長をはじめ8名の参加がありました。ご来賓は以下のとおりです。



今城 純子 高知県教育長 木村 大作 高知市教育委員会管理主事

森山 潤 学長 森 秀樹 理事・副学長 秋光 恵子 理事・副学長 北崎 哲章 副学長・事務局長
永田 智子 副学長 富田 明德 附属小学校長 押田 貴久 准教授 龍田 一輝 院生協前期会長

<学長講話>



最初に、森山学長から兵庫教育大学と教育の未来展望についてご講話をいただきました。大学経営の基本方針や取り組み、今後のビジョンについての貴重なお話でした。

大学経営の基本方針 「教育実践のトータル」の堅持 ・社会貢献の推進 ・教育実践の推進 ・教育実践の推進 ・持続的に発展可能な大学へ ・社会へ貢献可能な大学へ ・社会へ貢献可能な大学へ ・社会へ貢献可能な大学へ	新設科目として新しく開設した科目 <table><tr><th>科目名</th><th>担当</th><th>履修者数</th></tr><tr><td>...</td><td>...</td><td>...</td></tr></table>	科目名	担当	履修者数	...	...	...	大学・附属共同研究 POG出版 R2.02刊行 (STEAM教育) 日本型 STEAM 教育の推進と実践	教員養成フックアップ大学 TEXプログラム TEXプログラムの推進と実践	今後のビジョン ・教育実践の推進と実践 ・教育実践の推進と実践 ・教育実践の推進と実践 ・教育実践の推進と実践
科目名	担当	履修者数								
...	...	...								

<教育実践研究に係る表彰>

続いて、教育実践研究に関する表彰式が行われました。令和7年度に受賞された皆さんは以下のとおりです。

<役員推薦> 嬉野賞：長崎 政浩、傳法谷 肇
奨励賞：高田 哲史

※ 敬称略



<研究実践発表>

- 発表1 「社会教育士のネットワークで、人づくり、つながりづくり、地域づくり」 ～こうち社会教育・生涯学習研究会の取り組み～ 野村 ゆかり（一般社団法人もうひとつの大きな家族 代表理事）
- 発表2 「明日の学校教育を地域とともに創る」 長崎 政浩（高知工科大学教授）
- 発表3 『「社会教育魂」を活かした学校づくり・地域づくり』（対談）
小田 幸伸（岡山県高梁市教育長）
安田 隆人（岡山県教育庁生涯学習課 地域学校協働活動アドバイザー）

学校教育における学びの多様化とともに、生涯学習の必要性が高まり、ライフステージの変化に応じて「人生を豊かにするための学び」や「他者との学びあい」など、個人が生涯にわたって学習する機会の確保など、それぞれの立場・現状を踏まえ、3つの提言が行われました。



野村ゆかり氏

長崎政浩氏

小田・安田氏

<記念講演>



記念講演は、現在NHKドラマ朝の連続テレビ小説「あんばん」にちなみ、高知市立横山隆一記念まんが館 前館長の田所菜穂子氏から「まんがと文化と生涯学習 ～高知の漫画文化の流れ～」と題して、ご講演をいただきました。

まんがは、明治の自由民権運動の中で字が読めない人にも広く思想・時勢を伝える風刺画として始まり、ポンチ絵やアメリカの影響による4コマ漫画、戦時下の戦意高揚としての役割を経て長編漫画やストーリーマンガに至る。

最初は低評価だったが、江戸時代の浮世絵が海外で評価され逆輸入されたのと同じ様に、現在では国内だけでなく海外にも多くのファンがいる『MANGA』としてグローバルな娯楽文化となっている。また、繊細に描かれた絵や奥深いストーリーは、その時代の風俗、世相、思想が分かる史料として再認識されている。

<閉会行事・集合写真>

閉会行事は、令和8年度大会の兵庫から尼子尚公兵庫県支部代表による神戸での大会案内のあと、宮地暁男大会副実行委員長の総括で閉会しました。閉会後は、恒例の参加者全員による写真撮影です。スムーズな撮影ありがとうございました。



<情報交換会>



開会にあたり、国土無双によるよさこい踊りが披露され、活気にあふれた情報交換会が開催されました。大会の中で『鯉の薫焼き体験』もあり、新鮮な料理に舌鼓を打ちました。あっという間の2時間あまりでした。来年の神戸での大会も期待大です。

<巡検・高知市内>

翌日 7月27日（日）は、森副学長をはじめ、ご夫婦・家族連れの参加もあり、総勢22名による高知市内巡検が実施されました。タクシーで桂浜へ移動し、龍馬記念館を見学、そして桂浜の自由散策やショッピングです。猛暑の中での巡検でしたが、海岸は思ったより風が涼しく感じられました。皆さん元気で巡検を楽しみました。散策の締めくくりは、高知市内の「帯屋勘助」で高知の地元食材を堪能しました。



高知大会実行委員会の皆様のご尽力によって素晴らしい大会となりました。ありがとうございました。